

市長開会あいさつ（要旨）

本日、議員の皆様のご出席を賜り、令和 4 年第 4 回安芸市議会定例会が開催できますことを厚く御礼申し上げます。

はじめに、去る 10 月 19 日、伊尾木洞におきまして、来年 4 月から放送予定の NHK 連続テレビ小説「らんまん」の撮影が行われました。

本市がロケ地となるのは、昭和 63 年に放送された「ノンちゃんの夢」以来、約 35 年振りで、今回は、主演を務める^{かみきりゅうのすけ}神木隆之介さんが現地入りする、県内で唯一の撮影場所となることから、観光需要の起爆剤として、大いに期待を寄せているところでございます。

この「らんまん」による経済波及効果を最大限に生かすため、本市におきましては、伊尾木洞周辺の駐車場整備のほか、草花ガイドの育成や新たな周遊ルート作成を進め、コロナ禍で打撃を受けた観光分野の回復に取り組んでまいります。

次に、「安芸タートルマラソン」についてであります。

令和元年度以来、延期が続いておりました安芸タートルマラソンにつきましては、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、参加者を県内在住者に限定し、約 400 名のランナーによる、規模を縮小した特別大会として、今月 11 日に開催するよう準備を進めております。

沿道で応援いただく市民の皆様におかれましても、基本的な感染症対策

に十分ご留意いただきながら、師走の安芸路を駆け抜けるランナーへの温かいご声援をお願いいたします。

市内における観光需要の高まりやイベントの段階的な再開など、少しずつではありますが、着実に市民の笑顔とまちの活気が戻りつつあることを実感しております。

新型コロナウイルスの全国的な感染状況は、専門家から「第8波に突入した」との見解が示されるなど、依然として警戒を要する日々が続いておりますが、今後におきましても、感染症対策と経済とのバランスを図りながら、停滞する社会活動の回復に取り組んでまいりますので、市民の皆様、議会の皆様のご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

次に、「国政の動向及び来年度の市の予算編成方針」について申し上げます。

政府は、本年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2022」、いわゆる“骨太の方針”におきまして、成長と分配の好循環に向けた動きを確かなものにするとともに、経済・財政一体改革についても着実に推進することとしております。

国の概算要求方針におきましても、「重要政策推進枠」として、新しい資本主義の実現に向けた人への投資や、科学技術・イノベーションへの投資などに対する予算を重点化することが示されているところでございます。

本市におきましても、こうした国の歩調に合わせ、ウイズコロナのもと社会経済活動の正常化と地域課題の解決に向けた産業振興やデジタル化の推進など、積極的でバランスのとれた施策展開に取り組んでまいります。

一方で、本市の財政構造は国の地方交付税に大きく依存していることから、地方財政計画における地方一般財源総額の動向を注視しつつ、今後、増加が見込まれる公債費が将来的な財政運営を圧迫することがないように、財政健全化路線を堅持する必要があります。

来年度の予算につきましては、限られた財源の効率的かつ効果的な配分に努め、「社会課題の解決に向けた取組と個性を活かした地方創生の推進」、「公共施設及びインフラ等の防災・減災・強靱化の推進・深化」、「人口減少対策と保育・教育環境の充実・強化」、「農林水産業の基盤強化と戦略的な観光施策の展開」の4つの分野を重点項目として、予算編成を進めてまいります。

それでは、市政の主要な課題等につきまして、ご報告いたします。

はじめに、「原油価格・物価高騰対策」についてであります。

我が国におきましては、ロシアのウクライナ侵攻に端を発した世界的なエネルギーや原材料価格の高騰、また、急速な円安を背景とした物価の上昇が続いており、市民の家計や地域産業は甚大な影響を受けているところでございます。

こうした物価高騰対策を柱とする政府の総合経済対策を盛り込んだ、一般会計歳出総額 28 兆 9,222 億円となる第 2 次補正予算が、今月 2 日、

参議院本会議で可決、成立されました。本市におきましても、原油・物価高騰に直面する事業者等への影響を最小化するための機動的な対策に取り組むこととしております。

まず、農業分野におきましては、化学肥料原料の大幅な上昇に伴い、肥料価格が過去最高水準に高騰していることから、農業者のコスト上昇分に対する国や県の支援措置が講じられているところでございます。

本市では、こうした動きを踏まえた市独自の上乘せ支援制度を創設し、農業者の経営継続と安定的な生産につなげてまいりたいと考えております。

水産業におきましても、漁業用燃油の価格高騰で厳しい経営環境に置かれる漁業者に対しまして、その影響を緩和し、事業の維持継続を下支えするための緊急的な支援措置を講じることとしております。

また、福祉分野では、国が定める公定価格により経営している介護保険施設や障害福祉施設等におきまして、物価高騰による影響を利用料に転嫁できず、事業経営を圧迫していることから、本市独自の補助制度により、安定的なサービス提供を支援してまいります。

こうした原油価格・物価高騰の影響を受ける事業者への負担軽減を図るための関連経費につきまして、今期定例会に補正予算として計上しております。十分にご審議と適切にご決定を賜りますようお願い申し上げます。

次に、「水道料金の改定」についてであります。

本市の水道料金につきましては、平成 11 年度に現行の料金体系に改定以降、経営の効率化を図りながら現在の水準を維持してまいりましたが、給水人口の減少に伴う収益減に加え、南海トラフ地震対策となる新水源地整備や老朽管路の耐震化など費用の増大が避けられず、健全経営の確保が見通せない状況となっております。

このため、一昨年度から安芸市水道事業経営審議会へ水道料金改定に関する審議をお願いしてきたところ、この度、令和 5 年度から値上げを行うべきとの答申をいただいたことから、今期定例会におきまして、関連する条例改正の議案を提出しております。

今後におきましても、より一層の経費削減に努めるとともに、持続可能な経営基盤の確立に取り組んでまいります。

なお、物価高騰などで多大な影響を受ける市民生活を支援するため、来年度におきましては、水道基本料金の一部につきまして、一定期間減免することで、値上げ幅を抑制する取組も検討しております。市民の皆様、議員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

次に、「携帯電話の不感地域解消」についてであります。

移動通信端末である携帯電話は、音声通話機能や電子メールのほか、近年では、緊急時の通報手段としての役割も担っており、今や日常生活になくはないツールとして、国民生活に深く浸透しているところでございます。

一方、携帯電話の基地局整備は民間主導を原則としており、利用者が少なく採算性の低い地域においては整備が進みにくい傾向にあることから、本市におきましても、畑山地区に至る県道 210 号沿いには、広範囲にわたって携帯電話の通話ができない地域が続いている状況となっております。

本市では、こうした地域間格差の是正に向け、来年度におきまして、国の補助事業による携帯電話の通話エリア拡大に取り組むこととしており、有利な財源である辺地対策事業債を活用するため、今期定例会におきまして、関連する議案を提案しております。

今後におきましても、総務省四国総合通信局や民間事業者等と連携しながら、当該地域における携帯電話の不感地域解消に取り組んでまいります。

次に、「新たな広域観光協議会への参画」についてであります。

四国南東部の観光誘客や周遊促進を図るため、高知県、徳島県、高知県東部と徳島県南部の 14 市町村、高知県東部観光協議会、四国の右下観光局の、合わせて 18 の団体で構成する「四国南東部広域観光連携協議会」の設立総会が、先月 24 日、徳島県海陽町で開催されました。

この協議会は、地理的条件に近い徳島県南部と高知県東部におきまして、豊かな観光資源や交通アクセスなど、互いの強みや課題を共有することで、県境を越えた一体的な観光施策の展開に取り組むものでございます。

今後におきましては、昨年 12 月に営業運行が開始された、世界初となる DMV（デュアル・モード・ビークル）の効果を最大限に生かすべく、

まずは、2025年の大阪・関西万博を見据えた観光周遊促進に向け、協議していくこととしております。

次に、「防災・減災対策」についてであります。

先月6日に、安芸市防災センターにおきまして、一般財団法人消防防災科学センターのご協力のもと、地域版タイムライン研修を開催いたしました。

この「タイムライン」は、台風や大雨などで想定される災害に対し、防災関係機関が連携して、「いつ」、「誰が」、「何をするか」を事前に明確化したうえで、それぞれの防災行動や実施主体について、時系列で整理した計画であります。

研修には、自主防災組織や民生委員、消防団、各公民館などから39名の参加があり、各団体における「タイムライン」とともに、それらを突き合せた「地域版タイムライン」を作成したところでございます。

今後におきましても、地域の関係者が継続して防災対応について検討できる体制づくりに努め、発災後の迅速な対応につなげていけるよう、関係機関と連携した取組を進めてまいります。

次に、「統合中学校の開校に向けた取組」についてであります。

本年6月から9月にかけて、統合中学校の新たな校章となるデザイン案の公募を行い、全国各地から提案のあった256件の中から、新校章を決定したところでございます。また、新しい制服につきましても、事業者

から提案のあった複数のデザイン案を基に、小中学校での展示会やアンケート調査を実施するなど、現在、選定作業を進めております。

市立安芸中学校及び清水ヶ丘中学校の生徒による事前交流といたしましては、両校の野球部を対象とした合同トレーニング講習会を、今月中旬に予定しており、部活動を通じた交流を深めることとしております。

今後におきましても、両校で部活動があるサッカー部やバレーボール部、吹奏楽部などを対象に、専門家を招いた合同練習や講習会など、生徒同士の積極的な事前交流を図ってまいりたいと考えております。

最後に、「三菱グループとの連携プロジェクト」についてであります。

三菱創業者・岩崎彌太郎の生誕地である本市におきましては、次代を担う子どもたちに対する「地域学習」や「キャリア教育」を推進するため、今年度から新たに、三菱広報委員会と連携した「三菱探究プロジェクト」に取り組んでおります。

このプロジェクトは、本市の子どもたちが彌太郎の功績や志を学ぶとともに、三菱グループによる社会貢献や身近な生活を支える様々な仕事を知ることによって、郷土の偉人への敬意や自尊心の向上を図るものでございます。

本年度におきましては、ロケット開発や宇宙事業に長年従事された、三菱重工業株式会社フェローアドバイザーをお招きし、来年 1 月 30 日、市立の両中学 1 年生を対象に『三菱の仕事、働く人』と題して、ご講演いただくこととしております。

今後におきましても、本市の子どもたちが将来の大きな夢やグローバル

な目標が抱けるよう、三菱グループの皆様にご協力いただきながら、取組を進めてまいります。

続きまして、今議会に提案いたしました議案をご説明いたします。

まず、予算案件は、令和4年度安芸市一般会計補正予算など5件であります。

このうち、一般会計補正予算は、主な増額として、穴内漁港海岸保全施設整備事業に7,400万円を、物価高騰対策として、農業者・漁業者に対する補助金に2,950万円を、介護保険施設・障害福祉施設・矢ノ丸保育園に対する補助金に290万円を計上するなど、総額3億5,379万5千円を増額するものであります。

次に条例議案は、『安芸市津波避難場所設置及び管理に関する条例』など10件でございます。

その他の議案は、人事案件1件、契約案件1件、その他案件2件の計19件であります。

各議案につきましては、後刻、副市長並びに担当課長から詳しくご説明申し上げます。

十分にご審議をいただきますとともに、それぞれの案件につきまして、適切にご決定を賜りますようお願い申し上げます。開会のごあいさつといたします。